



たんぽぽ組だより 2月号



令和5年2月20日 ときわ保育園 担当 京坂

寒い時期ですが、日中は時折暖かい日差しも感じられ、梅の花ももうすぐ見頃を迎える季節となりました。

戸外遊びでは、毎日元気いっぱい遊ぶ子ども達。

総合遊具では様々な箇所から登り降りに挑戦し、保育者に支えられながらロープを使ってみたり、登り棒をやってみたりと、運動面での発達はもちろんのこと、「やってみよう」という心の発達も感じられる日です。

砂場で、数名で山作りを楽しんでいると、「もっと大きくしよう」と話しながら砂を上からたくさんかける子ども達。しかし、それだけでは大きくなれないことに気づき、両手でパンパンとしっかり固めたり、カップに入れて持ってきた水をかけたりと工夫して遊んでいました。

友だちとの関わりも増え、会話の中で自然と考える力が身に付き、「どうしたら大きな山ができるか」ということを自分たちでアイデアを出し合って遊んでいることに感動した瞬間でした。

今後も、子ども達の“どうして”という疑問や発見を大切にして遊びをより楽しめる環境づくりに努めていきたいです。



さて、進級に向けて、パジャマへのお着替えや朝の準備など意欲的に頑張っている子ども達です。新しいことが出来る喜びを知り、嬉しそうに「できたよ。」と見せてくれます。

子ども達一人一人に合った働き掛けを行ないながら、自然な生活の流れの中で少しずつ進級を意識していけるようにしたいと思います。